

# 海外安全対策情報 (2018年4～6月)

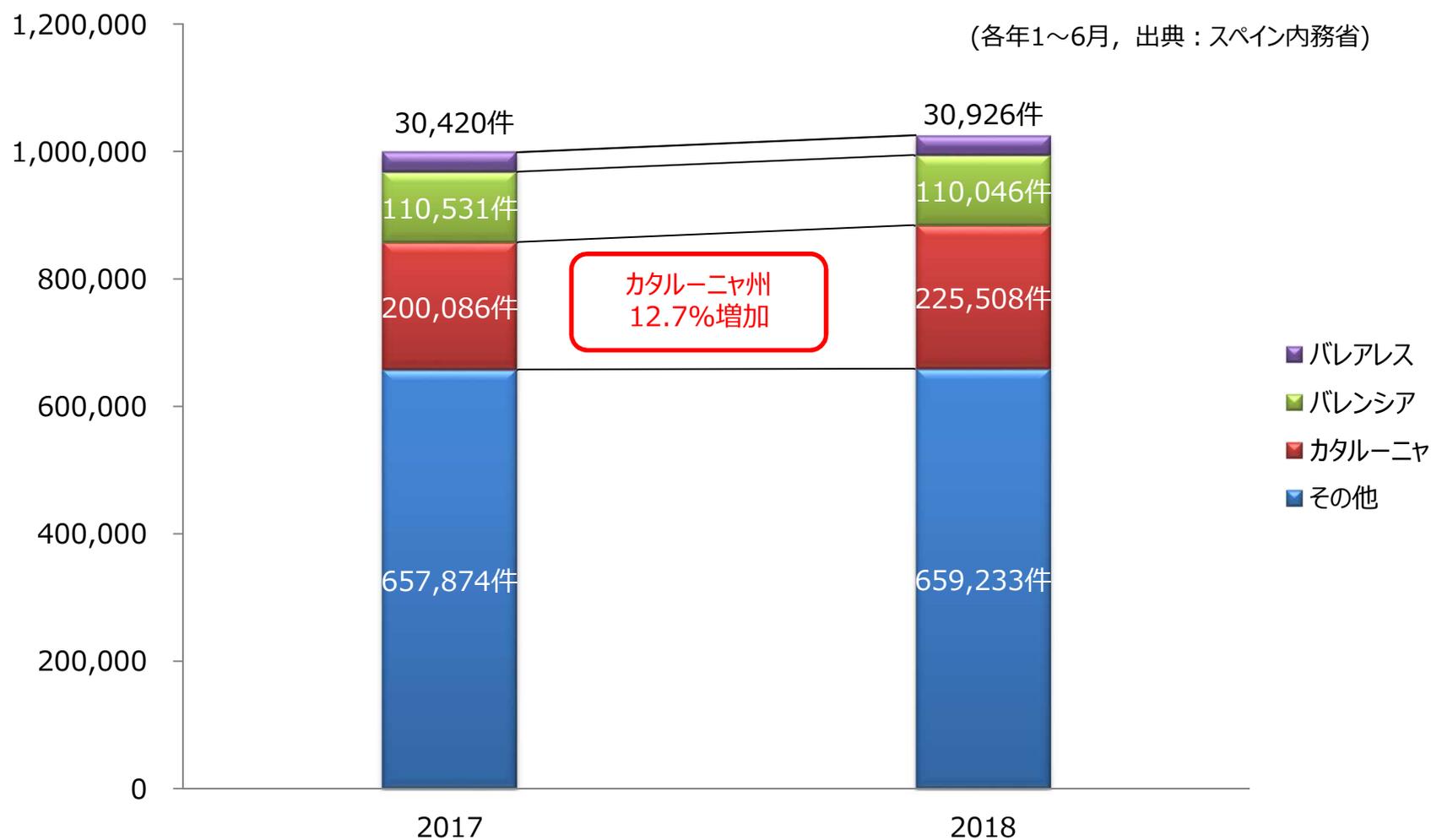
在バルセロナ日本国総領事館

# 1 社会・治安情勢

- サンチェス社会労働党政権発足後、同政権はカタルーニャ州政府との「対話」路線を打ち出しているが、同州政府の独立方針に変更はなく、今後も州内各地で抗議デモ、道路封鎖等が突発的に実施される可能性がある。
- 全国的には犯罪発生件数は微増。州別の犯罪発生件数は、カタルーニャ州、バレアレス州で増加、バレンシア州は減少。
- 手口別では、カタルーニャ州は「置引き・すり等」と「侵入窃盗」、バレンシア州は「薬物犯罪」、バレアレス州は「薬物犯罪」と「侵入窃盗」が増加。

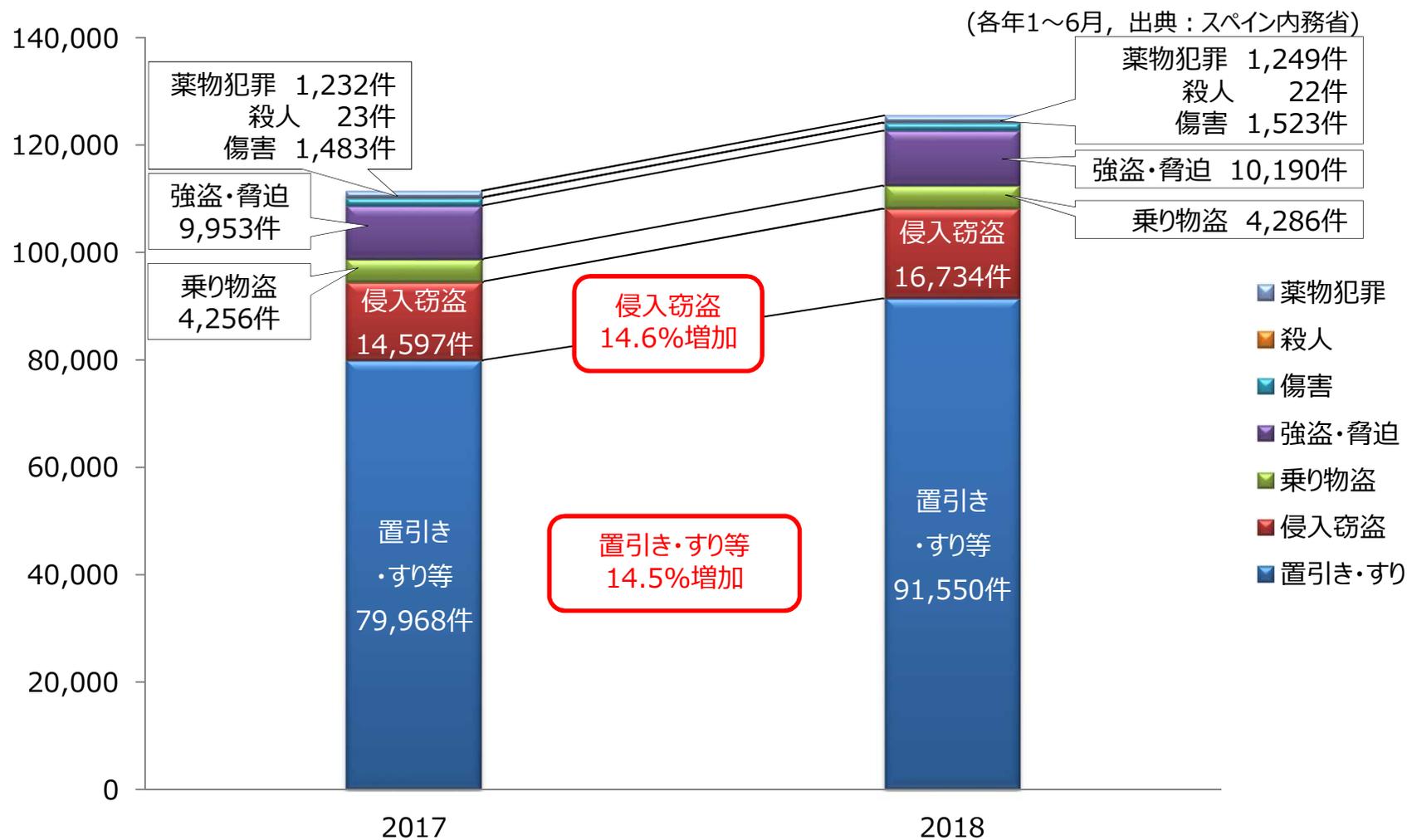
## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

### (1) 管轄3州とその他の州の犯罪発生件数推移



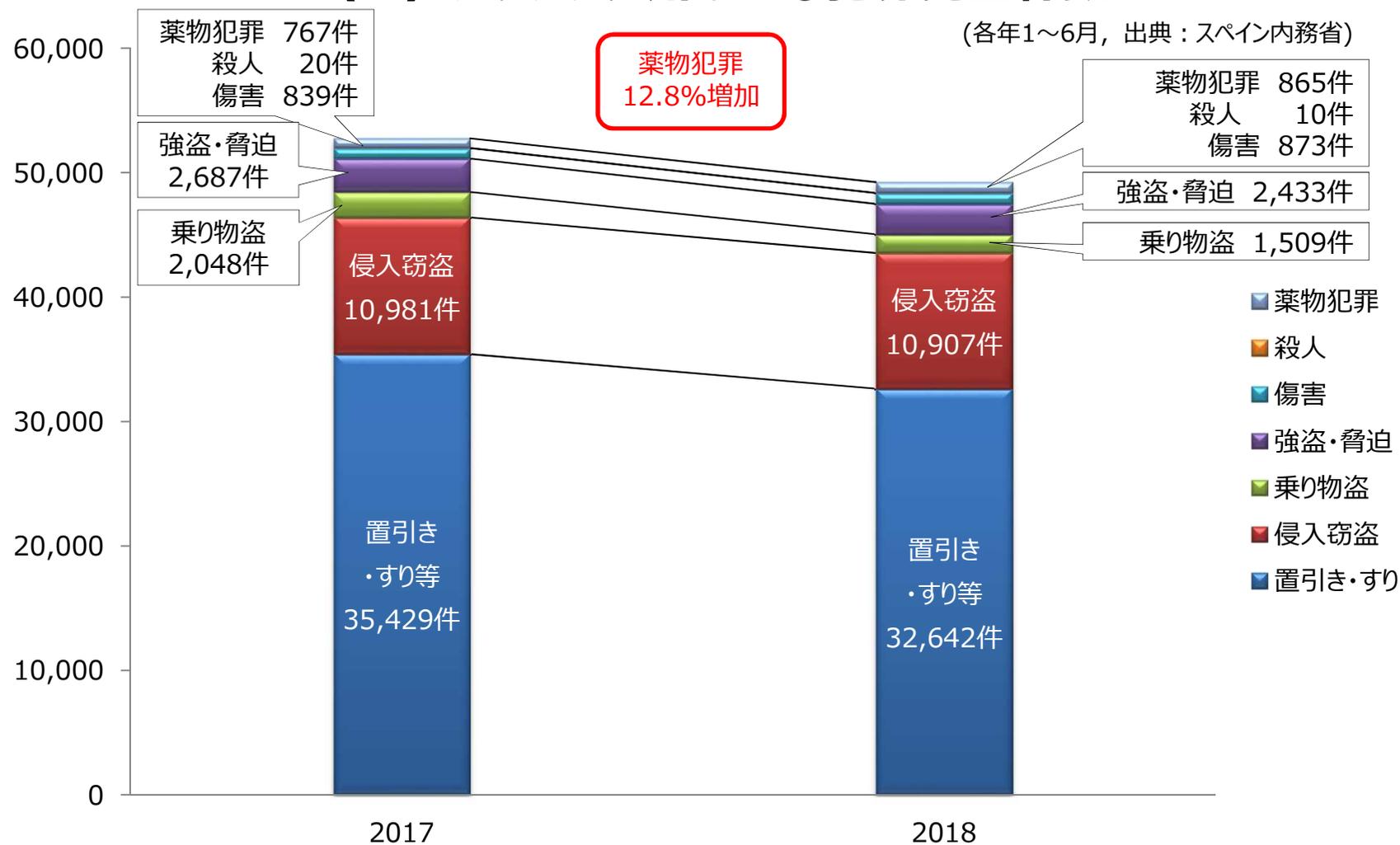
# 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

## (2) カタルーニャ州の主な犯罪発生件数



## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

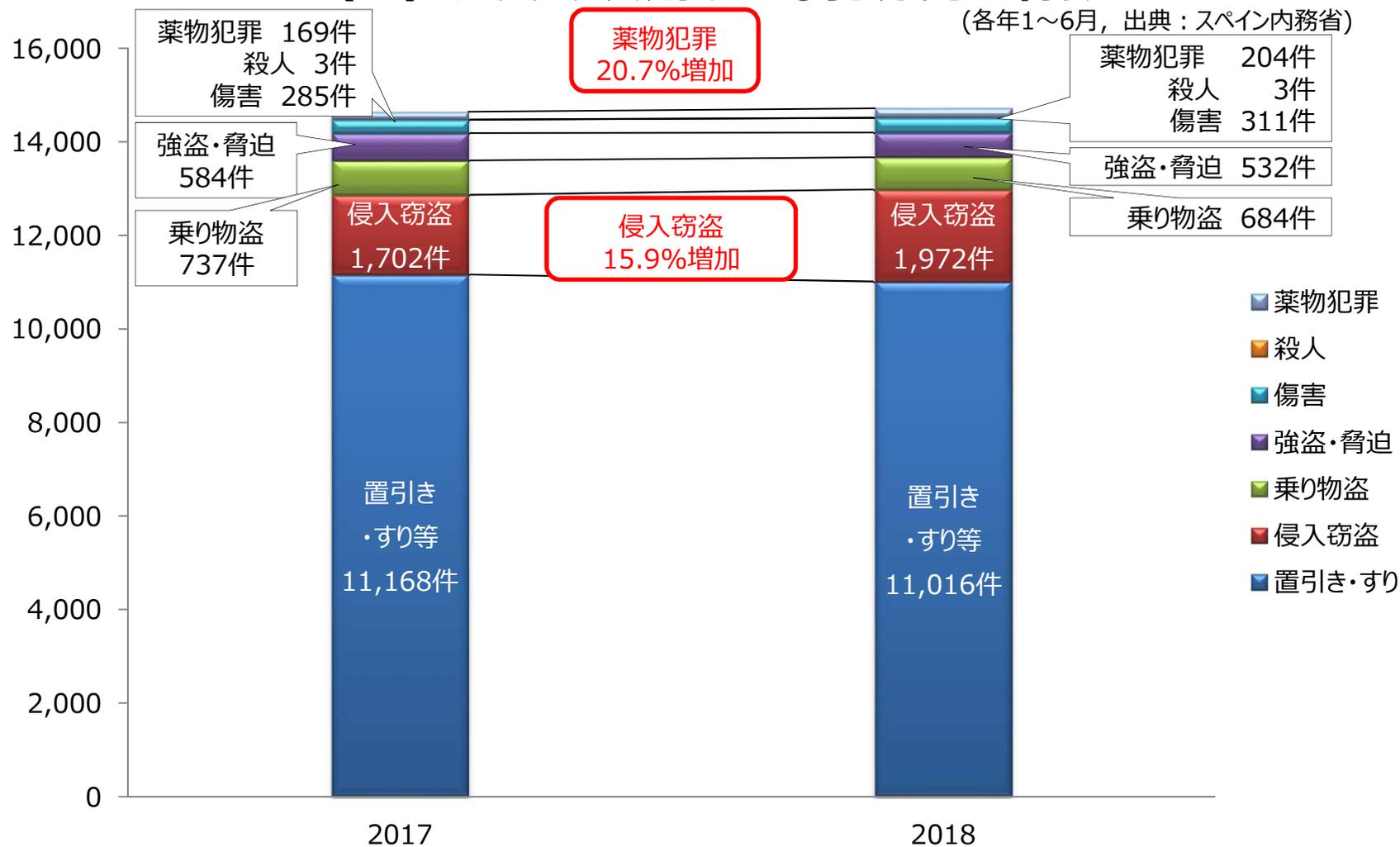
### (3) バレンシア州の主な犯罪発生件数



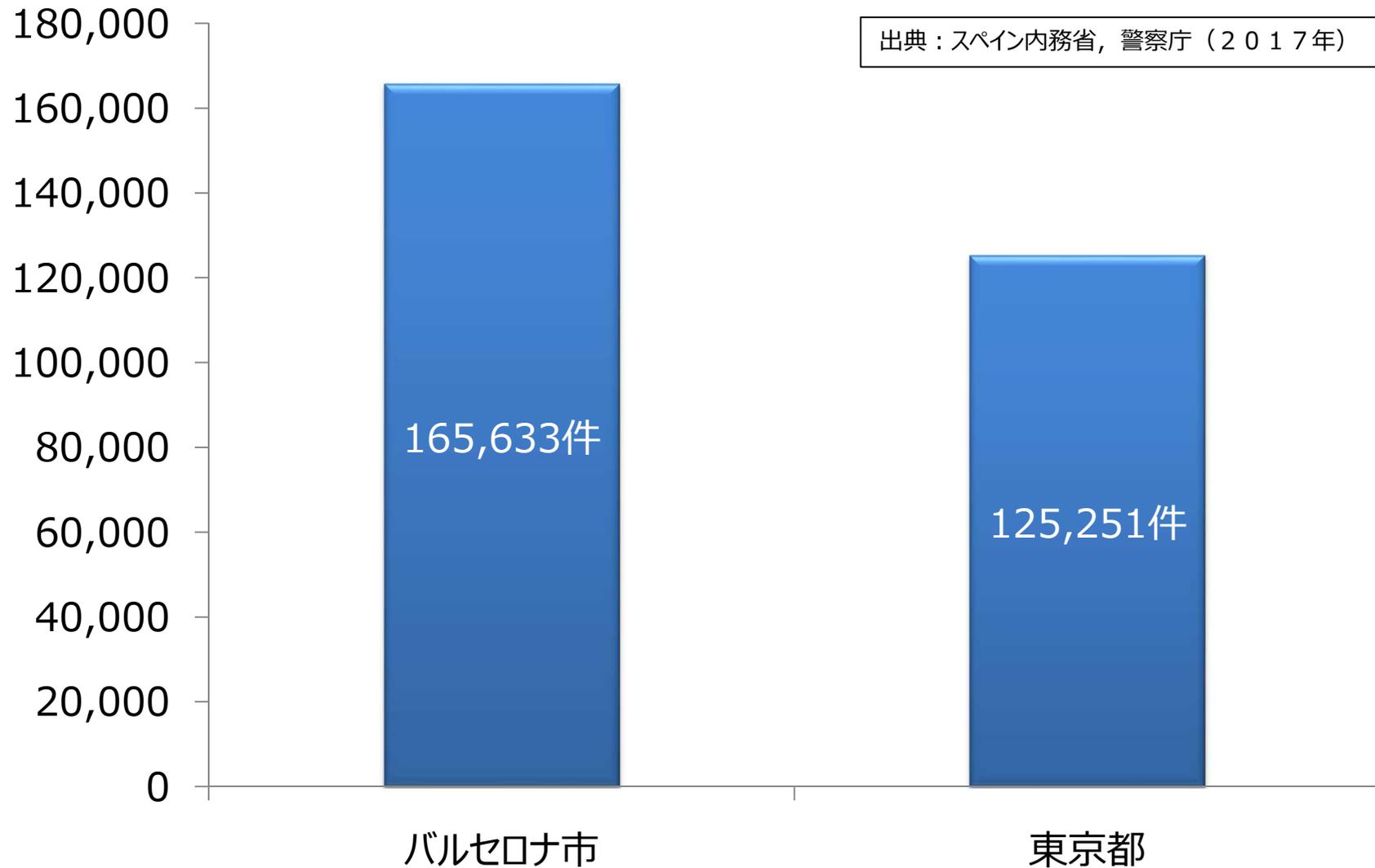
## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

### (4) バレアレス州の主な犯罪発生件数

(各年1~6月, 出典: スペイン内務省)



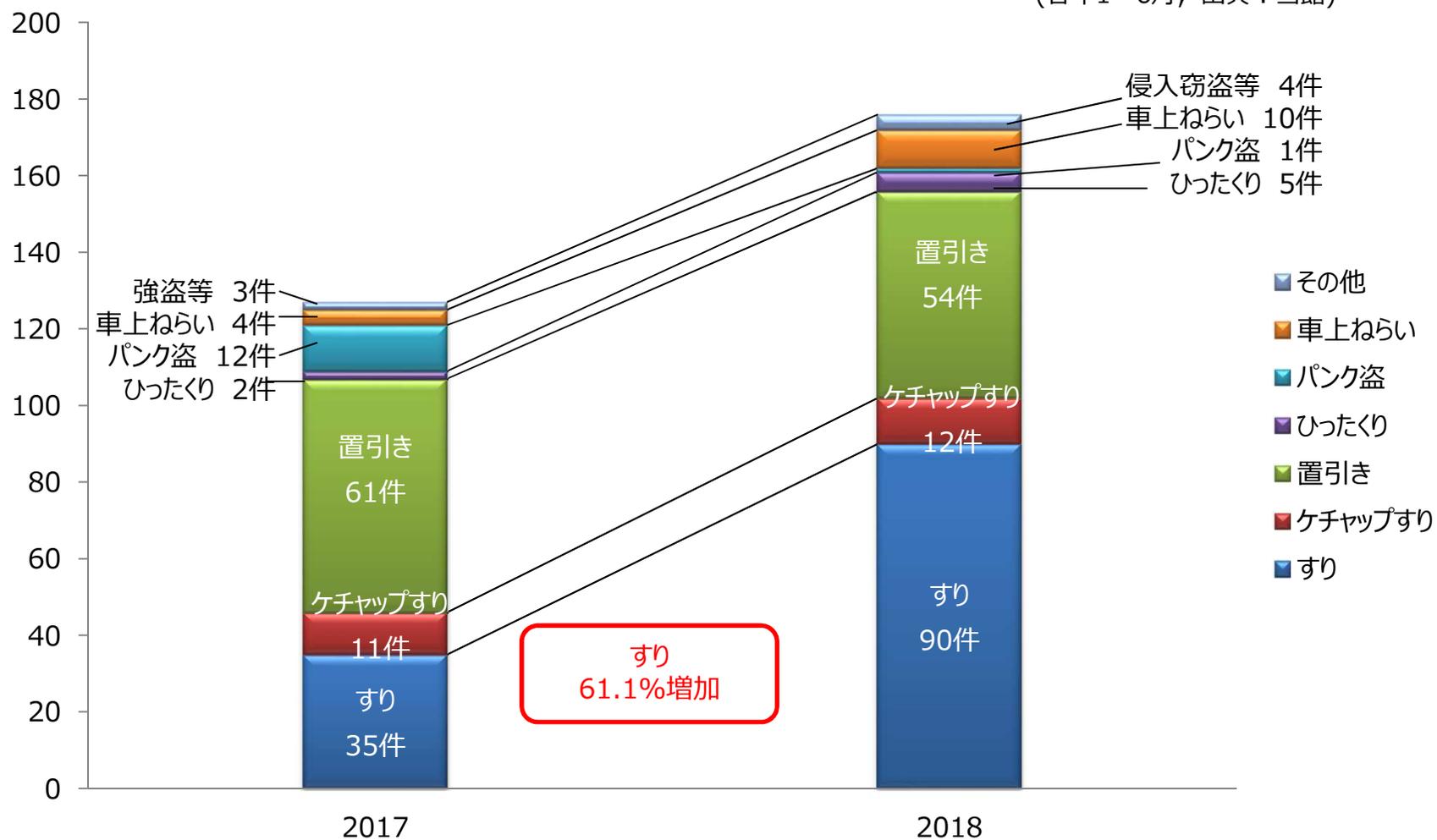
# 【参考】バルセロナ市と東京都の 犯罪発生件数比較（2017年）



# 3 邦人犯罪被害 (1) 手口別被害件数

## 手口別被害件数

(各年1~6月, 出典: 当館)



# 3 邦人犯罪被害

## (2) 2018年4～6月の被害例

- 地下鉄駅構内で、背負っていたリュックサックの中から旅券、現金等在中のポーチを抜き取られ盗まれた（すり）
- レストランで飲食中、背中と背もたれの上に置いていた旅券、現金等在中のバッグを盗まれた（置引き）
- 車を路肩に駐車した際、男から「ここは駐車禁止だ、駐車場を教えてやるから降りてこい」と言われ、降車している間に、車内から旅券、パソコン等在中のバッグを盗まれた（車上ねらい）
- レストランや高速道路サービスエリアの駐車場に駐車したレンタカーの窓ガラスを割られるなどして、車内から旅券、パソコン等在中のバッグを盗まれた（車上ねらい）

## 3 邦人犯罪被害

### (3) 被害に遭わないために

- 旅券，財布，携帯電話等の貴重品等が在中したバッグ等は，体の前側で抱える
- 飲食時，貴重品が入ったバッグ等を隣の席に置かない，椅子の背もたれに掛けたり，背中と椅子の間に置いたりしない（体の前側で抱える）
- 降車する際は必ずドアロックをし，旅券や財布等の貴重品を持って降車する
- 防犯機能付きのウエストポーチ等を活用する
- 当館HP掲載の防犯動画を確認する

## 4 テロ・爆弾事件発生状況

- 2017年8月17日，バルセロナ市ランブラス通り等において車両突入型のテロが発生し，多数の死傷者が発生
- 国内のテロ警戒レベルは依然として「レベル4（高い脅威）」が維持され，テロ警戒及び治安強化が継続
- 人混み等を歩く際は，周囲の状況に目を配るなどの注意が必要

## 5 誘拐・脅迫事件発生状況

- 邦人被害の事件は認知していない

## 6 日本企業の安全に関する諸問題

- 特段確認されていない